

会 議 名	第 7 回新城市公共施設再配置計画検討委員会		公 開
日 時	令和 8 年 9 月 8 日（火） 午後 6 時 3 0 分～午後 8 時 1 0 分	場 所	市役所本庁舎 4 階会議室
出 席 者	（委員） 杉木直、吉村輝彦※、村松昂章※、浅井泰博、垣内隆由、河村晶子 ※オンライン出席		
	（事務局） 総務部：吉林部長 資産管理課：河村課長、竹下副課長、鈴木主任、三輪主任 （支援委託業者） ランドブレイン株式会社名古屋事務所：松波		
欠 席 者	片桐幹久、原田真弓、河合好彦、岡山ひろみ	傍 聴 者	なし
配布資料	第 7 回新城市公共施設再配置計画検討委員会 次第 資料 1－1 検討の進め方（本日の位置づけ） 資料 1－2 委員意見検討一覧表（第 6 回検討委員会の意見と対応） 資料 2－1 新城市公共施設等総合管理計画（中期計画・原案） 資料 2－2 新城市公共施設個別施設計画（第 2 期・原案）		

議題・議事・発言等（要点記録）

1 開会

（1）開会宣言

事務局	事務局から開会宣言を行った。 事務局から配布資料の確認を行った。 杉木委員長から挨拶を行った。 出席状況を確認し、委員 6 名の出席を把握した。
-----	---

2 議事

事務局	本委員会は原則として公開である旨を説明した。 また、会議録の公開にあたり、本委員会の内容を録音する旨を説明した。 議題の進行について、杉木委員長に依頼した。
-----	--

（1）前回の振り返り

事務局	資料 1－1 に基づき、「検討の進め方（本日の位置づけ）」について説明した。 資料 1－2 に基づき、「委員意見検討一覧表（第 6 回検討委員会の意見と対応）」について説明した。
-----	--

<質疑応答>

委員	地域説明会について、賛成や反対の意見が出て議論がまとまらなくなる可能性があるが、どのような形で実施する予定か。
事務局	地域別の再配置方針を示しながら説明する予定である。施設方針は庁内で検討した結果を整理したものであり、今後は地域や所管課と協議しながら進めていく。
委員	地域説明は千郷や東郷などの地域単位で実施するのか。 12月には建議も予定されている。 協議会の限られた時間の中で十分に説明できるのか。
事務局	地域協議会の場を活用し、地域単位で説明する予定である。 重要な案件であるため、地域協議会の時間をいただき説明したいと考えている。 地域別方針をA3一枚程度に整理して説明する予定である。個別施設の詳細については後日意見を聴取する。
委員	施設ごとの説明だけでなく、再配置の考え方や全体方針も併せて説明した方が、市民の理解を得やすい。
事務局	全体方針も含め、説明の流れが分かるよう工夫したい。
委員	パブリックコメントはどのように実施するのか。
事務局	市役所において実施する予定である。
委員	ホームページでも実施するのか。
事務局	ホームページを基本として一定期間実施する。
委員	市民まちづくり集会やワークショップの成果が今回の計画にどのように結びついているのか。また、意欲のある市民が継続的に関われる仕組みが必要ではないか。意欲のある市民が継続して参加できる受け皿があるとよい。
事務局	市民まちづくり集会は公共施設マネジメントへの理解促進を目的として実施した。市全体で施設再配置の課題を共有する機会になったと考えている。 個別施設計画で位置付けるリーディングプロジェクト等を通じて、市民参加の受け皿としていきたい。
委員	地域別ワークショップの成果がどのように計画へ反映されたかを示すとともに、市民参加を継続していく考え方を説明した方がよい。
事務局	市民参加を活用しながら計画を推進できるよう検討する。

(2) 新城市公共施設等総合管理計画の改訂及び新城市公共施設個別施設計画（第2期）策定について

事務局	資料2-1に基づき、「新城市公共施設等総合管理計画（中期計画・原案）」について説明した。 資料2-2及び別紙に基づき、「新城市公共施設個別施設計画（第2期・原案）」について説明した。
＜質疑応答＞	
委員	財政状況の説明に用いられている「普通会計」などの用語は分かりにくいいため、注釈等を付けた方がよい。
事務局	市民に分かりやすい説明や注釈を追加する方向で検討する。あわせて計画全体についても、より分かりやすい表現となるよう見直しを行う。
委員	施設面積37%削減の目標と個別施設計画との関係性が分かりにくい。個別施設計画を進めることで目標達成が可能なのか整理が必要ではないか。
事務局	現時点で方向性が定まっている施設を積み上げると約28%の縮減となる。状態監視型保全や民間活用などによるコスト削減も含めて目標達成を目指している。
委員	状態監視型保全や民間活用では面積は減らなくても費用削減が可能である。面積削減だけでなく、維持管理費や更新費用などを指標とする考え方も検討する必要がある。
事務局	面積削減率は分かりやすい指標であるが、コストとの整合についても整理したい。
委員	市民参加や民間活用など新たな手法を踏まえると、指標の考え方も見直す必要がある。
委員	施設の廃止後の活用方法によって必要経費は異なるため、お金の視点も重要である。地域と相談しながら進めることが必要ではないか。
委員	面積削減は一つの目安ではあるが、それだけで評価するべきではない。新たな機能の創出や地域活動の場としての活用なども含めて進捗を確認する必要がある。また、リーディングプロジェクトや共創型の取組についても計画全体の中で位置付けるべきである。地域主体の取組や試行的な活動など、小さな動きを柔軟に取り込みながら進める仕組みが必要である。さらに、新たな機能の創出や共創の考え方は計画後半だけでなく、全体方針の段階から位置付けた方が分かりやすい。
事務局	総合管理計画と個別施設計画の関係性や推進体制を整理し、地域や民間との連携の考え方も含めて計画全体の整合を図りたい。

委員	現状分析や拡充の必要性などの記載は全体方針の中で整理した方が分かりやすい。
事務局	計画構成も含めて整理する。改定計画であるため追加的な記載となっている部分もあり、分かりやすい構成となるよう見直したい。
委員	PDCA による計画管理に加え、個別事業やリーディングプロジェクトの進行管理についても整理が必要である。
委員	あり方検討施設が多いため、進行管理をしっかりと行わないと検討が長期化するおそれがある。市民や民間事業者との協議体について考え方を確認したい。
事務局	協議体の詳細は未定であるが、個別施設ごとの組織ではなく、計画全体の進行管理を担う組織として想定している。個別施設の検討は所管課が主体となり、必要に応じて横断的な連携を図りながら進めていく。
事務局	総合管理計画は PDCA で管理し、個別施設計画はローリングにより見直ししながら進める考えである。あり方検討施設についても、検討結果を反映しながら柔軟に見直していく。
委員長	施設だけでなく機能の再編も含めて検討するためには、地域単位での議論が重要である。施設ごとの検討と地域全体の検討の両立が必要である。
事務局	地域協議体単位で議論する方が進めやすいと考えている。地域の中心施設を核として協議できる体制が望ましいと考えている。
委員	施設所管による検討と地域単位の検討をつなぐ体制が必要である。
事務局	地域への愛着も踏まえ、地域単位の協議を重視したい。
委員	その際には関係部局も参加することが望ましい。
事務局	住民と事業者が協働して施設活用を進めている事例も参考にしながら検討したい。
委員	プロジェクトを進めるためには、課題意識を共有するキーマンの存在が重要である。各課において課題意識や方向性を共有しながら進める体制が必要である。
委員	職員研修などを通じて庁内で課題認識を共有することも重要である。
委員	個別施設計画の散布図について、あり方検討との整合や年度設定の考え方を整理した方がよい。また、あり方検討や民間活用検討期間の設定根拠を明確にした方がよい。

事務局	再編やあり方検討の表現には整理不足があるため見直したい。学校施設については、現在策定中の適正規模・適正配置の考え方との整合を図りながら、今後ローリングによって具体化していく。学校施設の目標耐用年数については一部記載誤りがあったため修正する。
委員	学校施設については、教育委員会の検討結果が反映されることで今後具体的な方向性が示されるという理解でよい。
事務局	そのとおりである。学校運営協議会等とも連携しながら検討を進めていく。
委員	ロードマップ上で「あり方検討」と「利活用検討」などの違いが分かりにくいため、検討段階ごとに整理した方がよい。方向性が決まっている施設と検討中の施設が分かるような表現も必要ではないか。
事務局	表現方法を見直し、検討段階や進捗状況が分かるよう整理したい。
委員	方向性が決まっている施設と、あり方検討施設が分かるように整理した方がよい。

委員	一次評価の評価軸についても整理が必要である。
委員	一次評価の評価方法や重み付けの考え方を明確にした方がよい。また、一次評価結果と最終的な方向性との関係が分かるよう整理した方がよい。
事務局	一次評価の重み付け方法について確認するとともに、一次評価から二次評価、最終方針に至る判断過程が分かるよう整理する。
委員	一次評価から二次評価、最終方針に至る判断の流れが分かるよう整理した方がよい。
事務局	評価結果との関係が分かるよう整理し、分かりやすい表現に見直す。

委員	計画内で「中心拠点」と「中心施設」という用語が混在しているため、表現を整理した方がよい。
事務局	用語の整理を行う。

3 その他

事務局	次回の検討委員会は令和8年12月頃の開催を予定している。
-----	------------------------------

4 閉会

事務局	事務局から閉会の挨拶を行った。
-----	-----------------

以上